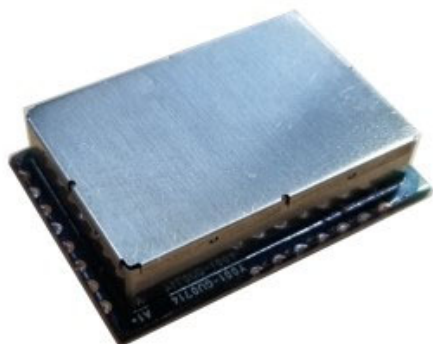
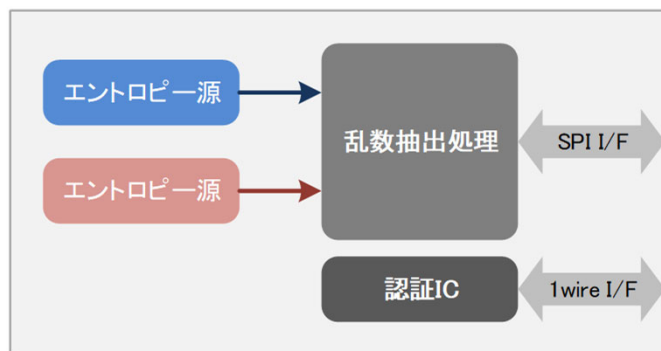


物理乱数チップ



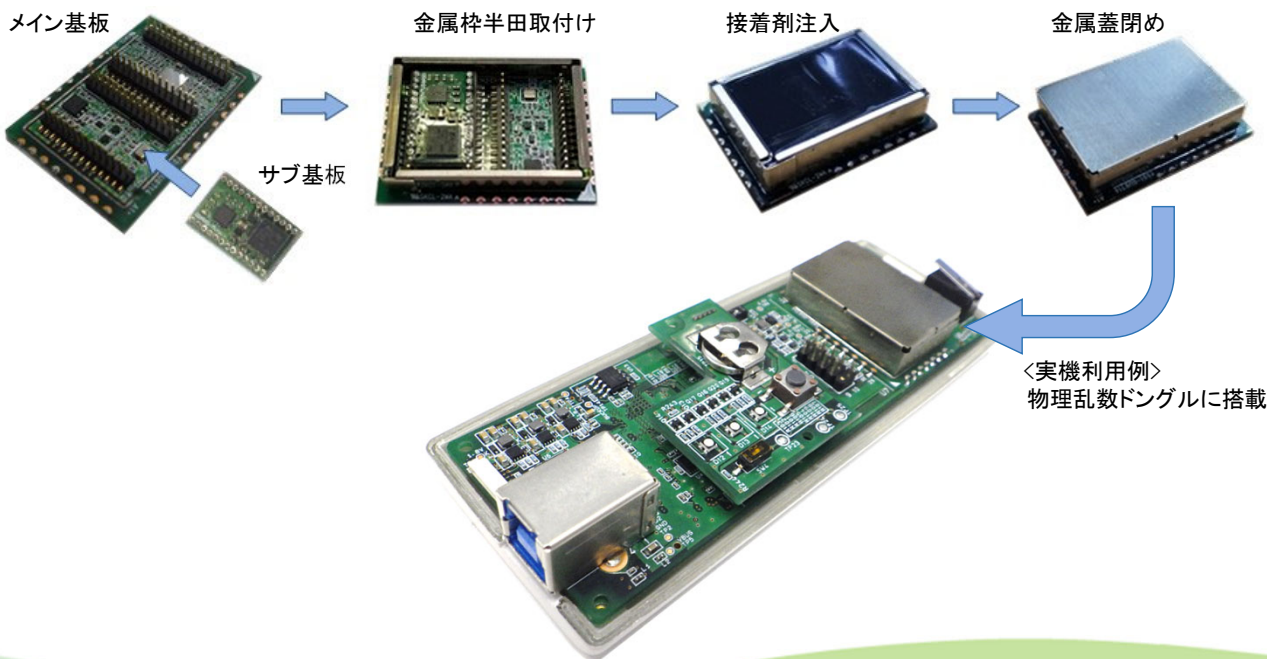
外観



ブロック構成図

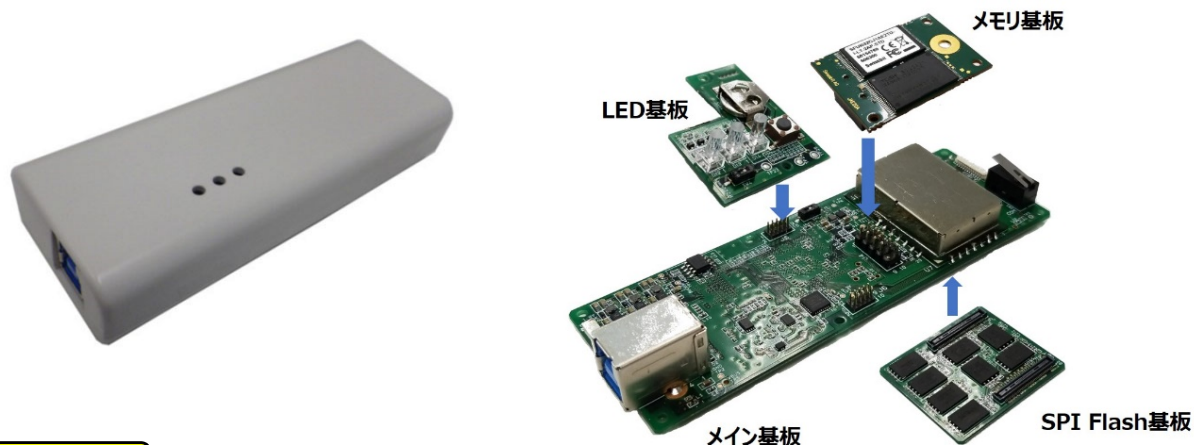
○ 特徴

- ・ランダムな物理現象に基づき、真性乱数を生成
- ・熱雑音、量子雑音など複数のエントロピー源を搭載可能(特許出願準備中)
- ・搭載可能なエントロピー源は2種類(2021年3月時点)
- ・乱数抽出回路には情報通信研究機構(NICT)考案の自己鍛錬型エクストラクタ(特開2018-147092)を採用
(NIST Special Publication 800-22/-90Bをパス)
- ・物理乱数生成性能: 10Mbps以上
- ・セキュリティー機能を搭載
 - a) ECDSA採用のデバイス認証IC搭載し、個体識別が可能
 - b) 金属カバー内部は、熱伝導性接着剤を充填し、容易な分解を防御する構造
- ・サイズ: 24.87(W) × 35.3(D) × 7.9(H) mm。
- ・取り付け: 端面スルーホール29ピン 半田付け



仕様は予告なく変更することがあります

物理乱数ドングル



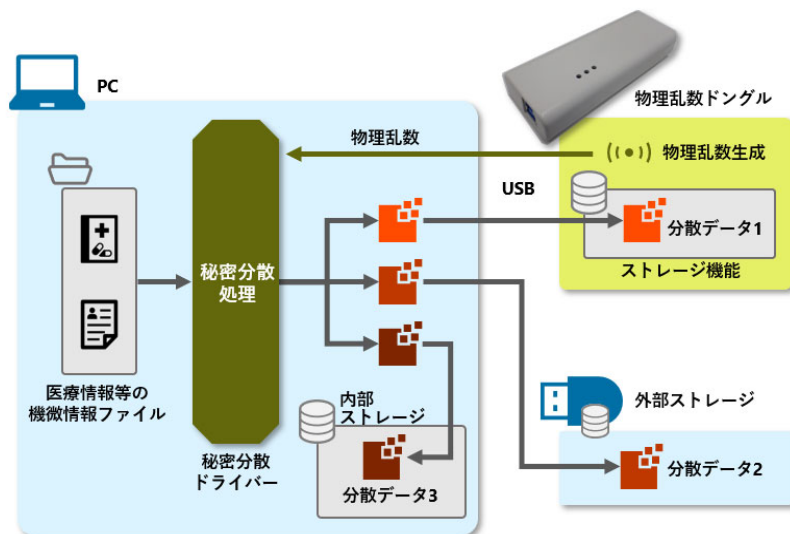
○ 特徴

- ・持ち運び可能な物理乱数源
120mm × 45mm × 21mm、重さ 120g
- ・生成した物理乱数を保存し、利用時にまとめて使用することが可能
物理乱数保存容量: 16Gbit
- ・秘密分散された1片を格納し、持ち運びするストレージとして使用することが可能
分散データ保存容量: 32GB
- ・乱数出力(PC接続)インターフェースはUSB3.0により、1Gbps以上の転送が可能
- ・乱数生成には物理乱数チップを搭載
生成性能: 10Mbps以上、NIST Special Publication 800-22/-90Bをパス
- ・乱数データ形式: API側で、バイナリー、整数、浮動小数点を選択可能
- ・セキュリティー機能
 - a) ワンタイム組立により容易に解体出来ない仕組み
 - b) 解体時には、認証用鍵ペアを消去する
 - c) ECDSAによる個体認証

○ 運用例

株式会社ZenmuTechが提供する秘密分散技術と組み合わせて、下記の機能を提供する。

- ・秘密鍵用の物理乱数
- ・秘密分散後のデータストレージ機能



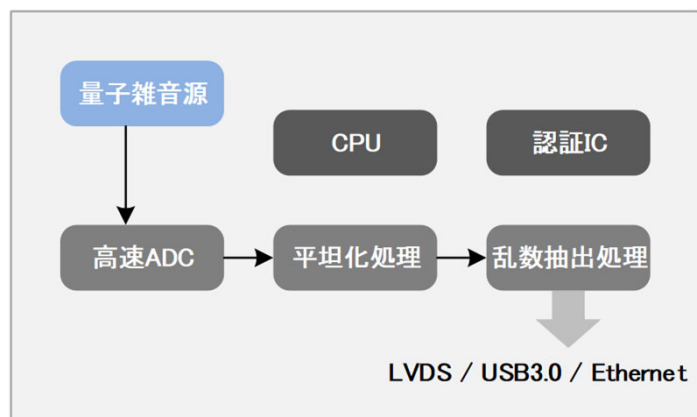
※ 分散データ1~3のいずれか2つにより元のデータを復元可能

仕様は予告なく変更することがあります

高速物理乱数生成装置



外観



ブロック構成図

○ 特徴

- ・ランダムな物理現象に基づき、真性乱数を生成
量子乱数発生回路(NICT考案)を小型化し搭載。
- ・乱数抽出回路には情報通信研究機構(NICT)考案の自己鍛錬型エクストラクタ
(特開2018-147092)を採用
(NIST Special Publication 800-22 /-90Bをパス)
- ・高速なリアルタイム物理乱数生成を実現
 - a) 1.244Gbps(SMAコネクタ、LVDS、リアルタイム出力)
 - b) USB3.0 インタフェースによる乱数高速転送(1Gbps)
- ・保守用インタフェース
RJ-45(10Base-T/100Base-TX/1000Base-T)、前面鍵付き蓋で保護
- ・19inchラック搭載可能。高さ2UIに収容
430(W)×370(D)×88(H)mm
- ・セキュリティー機能
 - a) One Wrap Around 構造により、解体しにくい仕組み。
 - b) 解体時には、認証用の鍵情報を無効化
 - c) ECDSAによる個体認証

○ 接続例



QKD装置との接続(外部クロック同期)



USB3.0によるサーバーとの接続

仕様は予告なく変更することがあります